

患者さまへ

「川崎病既往成人における急性冠症候群とカテーテル治療例の

診療実態に関する全国調査研究」

この研究は、他の研究(研究課題名: DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する研究(JROAD-DPC))で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、学術研究機関に情報を提供する場合、他の研究機関に情報を提供する場合で、かつ対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

| | |
|---------------|---|
| 1 研究の対象 | 2013年4月1日～2020年3月31日までに当院ないしDPCデータ※を用いた心疾患における医療の質に関する研究(JROAD-DPC)参加機関において急性冠症候群で入院加療ないしカテーテル治療を受けられた川崎病既往のある15歳以上の成人患者さま ※DPCデータ: 患者さまの病名や治療内容に応じて分類する診断群分類情報であり、患者さまの病名及び診療行為の明細が含まれています。 |
| 2 研究目的・方法 | 循環器疾患診療実態調査(J-ROAD)、日本循環器学会の研修(関連)施設の施設情報、診療情報を用いて、川崎病既往のある急性冠症候群ないしカテーテル治療入院の成人患者さまの基礎データを収集し、診療実態と関連した原因を調査します。 研究の期間: 施設院長許可後～2026年7月31日 |
| 3 情報の利用拒否 | 情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さん/さまに不利益が生じることはありません。 |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 川崎病発症年齢、急性期データ、入院前の診療情報(冠危険因子、薬剤、合併疾患)、入院時冠動脈所見、入院時の症状、診断、転帰、冠動脈画像所見、薬物療法、退院後の予後、DPC情報(年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等) |
| 5 研究実施体制 | [情報の提供を受ける機関] 三重大学医学附属病院 周産母子センター・准教授 三谷義英 [情報を提供する機関] 医療法人徳洲会千葉西総合病院 循環器内科 三角和雄 国立循環器病研究センター 医療安全管理部 津田悦子 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部理学療法学科 横井宏佳 天理よろづ相談所病院 循環器内科 田村俊寛 |

| | |
|-----------|---|
| | <p>和歌山県立医科大学 医学部 塩野泰紹</p> <p>[外部への情報の提供]</p> <p>情報を提供する際は、電子的配信で行い、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データは個人を特定できない形式に記号化した「登録番号」を付けた上で提供するため、患者さん個人が特定されることはありません。当院の「コード番号一覧表」(登録番号と患者さんを結びつけたもの)は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。</p> |
| 6 お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>千葉西総合病院</p> <p>住所 千葉県松戸市金ヶ作 107-1 電話番号 047-384-8111</p> <p>研究責任者:循環器内科 院長 三角和雄</p> |

2023年3月1日作成(第1.0版)